令和5年度心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名 流山市立西深井小学校

ア全校児童生徒数	224名 (令和	15年5月1日現在)
イ 実 践 対 象 (学年・人数など)	1年生 30名 4年生 32名 2年生 45名 5年生 39名 3年生 40名 6年生 38名	
ウ実 践 内 概要 ない 可容ない 可	 ・令和5年6月1日(木) 3年生校舎の入口に花を植える活動を通して、ボランティア精神とおもてなしの気持ちを養う。 ・令和5年6月29日(木) 6年生「クラリコ」の吉浦理子さんよりアメリカ留学の経験談を聞き、他国の文化を学ぼうとする気持ちを育てる。 ・令和5年7月4日(火) 全学年全校朝会にて、教務主任より全校児童に向けて、心のバリアフリー教育についての目的と活動内容の説明を行う。 ・令和5年10月全学年流山市のホストタウンであるオランダの小学生に、全校でメッセージを書いた葉書を送付する。 ・令和5年10月5日(木) 6年生修学旅行先の日光江戸村にて、外国人観光客に、英語を使って会話をする活動に取り組む。 ・令和5年10月26日(木) 4年生地域の社会福祉協議会を招き、福祉体験授業を実践して頂く。 ・令和5年11月1日(水) 4,5,6年生ゴールボールの東京パラリンピックパラリンピアン、関彰商事所属の山口凌河選手を迎え、講義と体験活動を指導頂く。来校前に、事前学習を行う。 ・令和5年11月1日(土)4年生主体 	
	対象、全校児童地域、保護者 西深井小フェスティバルにて、ボッチャの紹介と体 験活動を行う。	

	 ・令和5年11月22日(水) 1年生と4年生の代表児童 敬老会にて、1年生は学習発表、4年生は、 ボッチャの紹介と体験活動を行う。 ・ 5月~12月 全6回 全校児童対象 給食で、外国の料理を頂き、異文化に触れる。 (タイ、アメリカ、イギリス、サモア、チリ、 フランス) ・各学年毎に、学習活動を振り返る。(現在実施中)
	・各活動を学校ホームページで写真を添えて紹介
ェ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)	・学校給食だよりにて、世界の料理を紹介 ・敬老会(地域の高齢者対象)での児童による障害者福祉発表と活動 ・地域社会福祉協議会による高齢者福祉体験出前授業 ・学校運営協議会(コミュニティースクール)にて、写真を添えて活動を紹介
オ実 践 成 果 (児童生徒の変化など)	 ・本校は単学級で小規模だが、手紙で世界と繋がったり、給食で文化を知ったりする活動を通して、同時代に外国でたくさんの子どもや人々が生活したり、学習したりしていることを知り、視野を広げることができた。また、6年生は学習している外国語を使って、外国の人と繋がりを持つことができるという、自信を持つことができた。 ・花を植える活動では、花壇は3年生の児童が自分たちで作る、という意識を持たせて取り組みを進めることができた。 ・児童の本学習活動以前の障害者、高齢者福祉についての認識は「助けるべき人達がいる」という意識が強いことが課題であると感じられた。本教育を通し、学びや体験、触れ合いを行う中で、「尊敬、共生、相互理解」に児童の認識がシフトしていったことが、大きな成果だと感じられた。他者への敬意を持つことの大切さ、コミュニケーションの大切さを児童が体験的に学ぶことができた。 また、指導する教員も、研修等で児童に何を教え伝えていくべきかを考えながら取り組み、明確にできたことも成果である。
カ	・理解の難しさ等を考慮した結果ではあるが、低学年の活動内容が少なか
次年度の予定	ったと思われる。どのような教育活動が行えるのかを考えて実践する
(課題や改善策など)	必要がある。 ・学校便り(全校児童に6月30日配付)・学校ホームページ(12月
ボ 付 資 料 (広報資料・Web 記事な ど)	13日更新) (主汉児童(この月30日日に内) ・子(文が、 ユ・・ フ (12月 「